

基本目標Ⅳ 女性をはじめ誰もが働き続けられる職場環境づくり(仕事分野)

施策の方向	市の取り組み	みなさんをお願いしたいこと
(1)ワークライフバランス実現のための支援	・仕事と育児の両立支援 ・仕事と介護の両立支援	・性別に関わりなく、積極的に家庭での家事・育児・介護に参加しましょう。 ・支援制度を積極的に活用し、ワークライフバランスを実現しましょう。
(2)企業等への働きかけ	・ジェンダー平等の意識の浸透 ・ハラスメントの防止 ・柔軟な働き方を実現するための社内制度や職場環境整備の支援	・ハラスメントを防止しましょう。 ・柔軟な働き方を実現する社内制度や職場環境を整備しましょう。
(3)女性等の就労支援	・女性の就労支援 ・障がい者の就労支援 ・就業意欲のある高齢者等の就労支援 ・農業・自営業に従事する方の労働環境の整備	・就労支援の制度等を積極的に活用しましょう。

基本目標Ⅴ 多様な人材の参画による地域社会づくり(地域分野)

施策の方向	市の取り組み	みなさんをお願いしたいこと
(1)市政への女性の参画の拡大	・各種審議会委員等への女性の積極的な登用 ・市役所内における女性リーダーの活躍推進	・市政全般に関心を持ちましょう。
(2)地域活動への女性等の参画促進	・積極的な参画の促進	・積極的に地域活動等に参加しましょう。
(3)誰もが安心できる地域での防災・減災体制の確立	・女性をはじめさまざまな視点を取り入れた災害対策	・性別等に関わりなく、積極的に地域での防災活動等に参加しましょう。

相談窓口のご案内

相談窓口	相談できる人	相談方法	相談できる日	時間
山梨県女性相談支援センター	女性 (DV相談は男性も可)	【電話】 055-254-8635	月～金(祝日・年末年始を除く)	9時～20時
		【対面】		9時～17時
山梨県立男女共同参画推進センター ぴゅあ総合	女性	【電話】 055-237-7830	毎日(第2・4月曜・年末年始を除く)	9時～17時
		【対面】		9時～16時
	男性	【電話】 055-235-4171	毎月第1日曜日	13時～17時
女性の人権サポートくろーばー	甲斐市在住女性 (DV相談のみ)	【電話】 080-7884-7829	月～金(祝日、12/26-1/6を除く)	9時～19時
女性の相談ルーム かもしか	山梨県在住女性	【チャット】 	月～土(12/29-1/3を除く)	19時～21時

■発行:甲斐市 ■編集:市民生活部 市民協働推進課

※本プランに関する詳細な情報(本編)は、甲斐市ウェブサイトからご覧いただけます。



第5次 甲斐ヒューマンプラン

～甲斐市ジェンダー平等プラン～(概要) 【令和8年度～令和12年度】

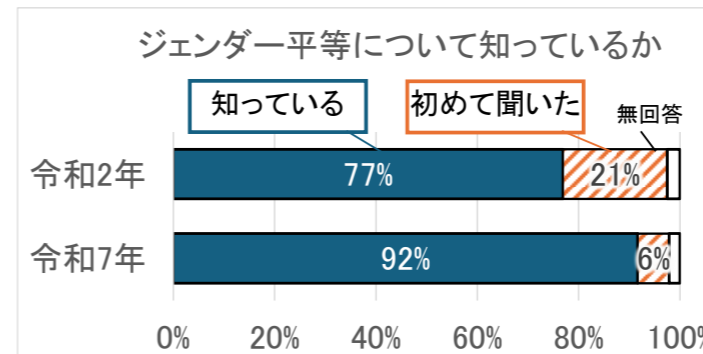
1 策定の趣旨

- ・世界経済フォーラムが2025年に発表したグローバルジェンダーギャップ指数(世界男女格差指数)ランキングにおいて、日本は148カ国中118位と、G7諸国の中では最下位でした。教育・健康分野でのスコアは高い一方で、政治・経済分野におけるスコアが低いことが、118位という低い順位に響いています。
- ・国では、「第5次男女共同参画基本計画」に基づき、ジェンダー平等の実現に向けた取り組みが進められています。
- ・甲斐市では、「甲斐ヒューマンプラン」及び「甲斐市男女共同参画推進条例」に基づき、甲斐市男女共同参画推進委員会を中心として、ジェンダー平等社会の形成のための取り組みを推進してきました。この度、「第4次甲斐ヒューマンプラン」の計画期間満了に伴い、総合目標や各種施策を見直した上で本プランを策定し、取り組みを継続していきます。

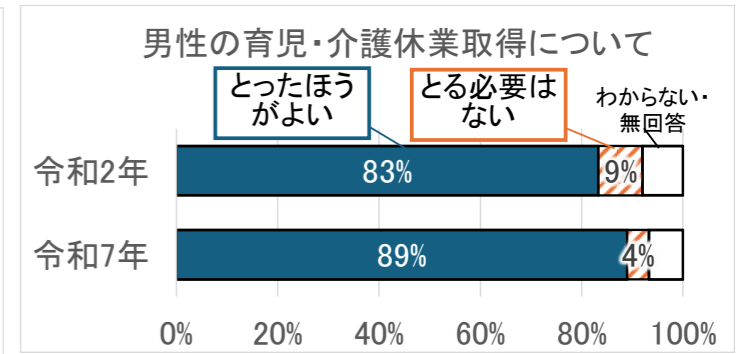
出典:市民アンケート。令和7年8月～9月に実施。

2 現状の把握

(1)ジェンダー平等に関する認知の高まりと意識の改革

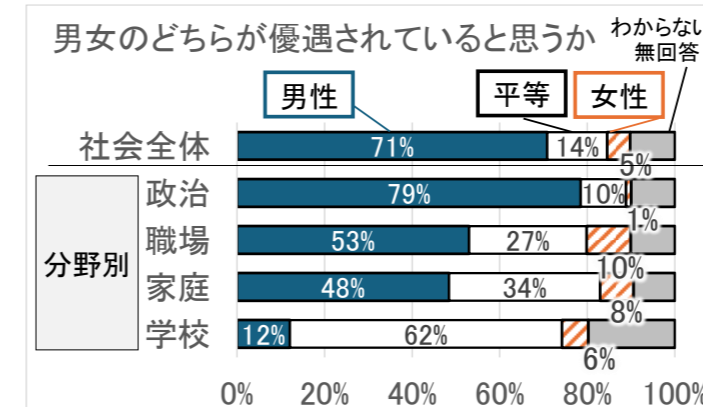


「ジェンダー平等」という用語について「知っている※」人の割合は高まっており、92%となっています。(※「内容を知っている」「言葉は聞いたことがある」の合計)

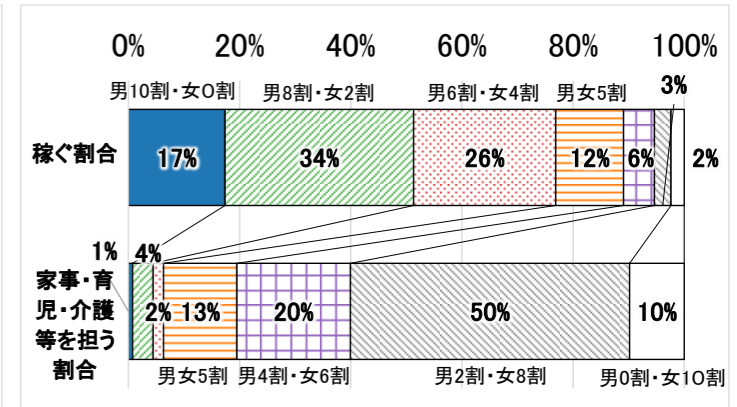


男性の育児・介護休業について「とったほうがよい※」と回答した人の割合は高まっており、89%となっています。(※「積極的にとったほうがよい」「どちらかというのとったほうがよい」の合計)

(2)依然として残るジェンダー不平等



社会全体で「男性の方が優遇されている※」と感じる人が71%と多くなっています。(※「非常に優遇されている」「どちらかといえば優遇されている」の合計)

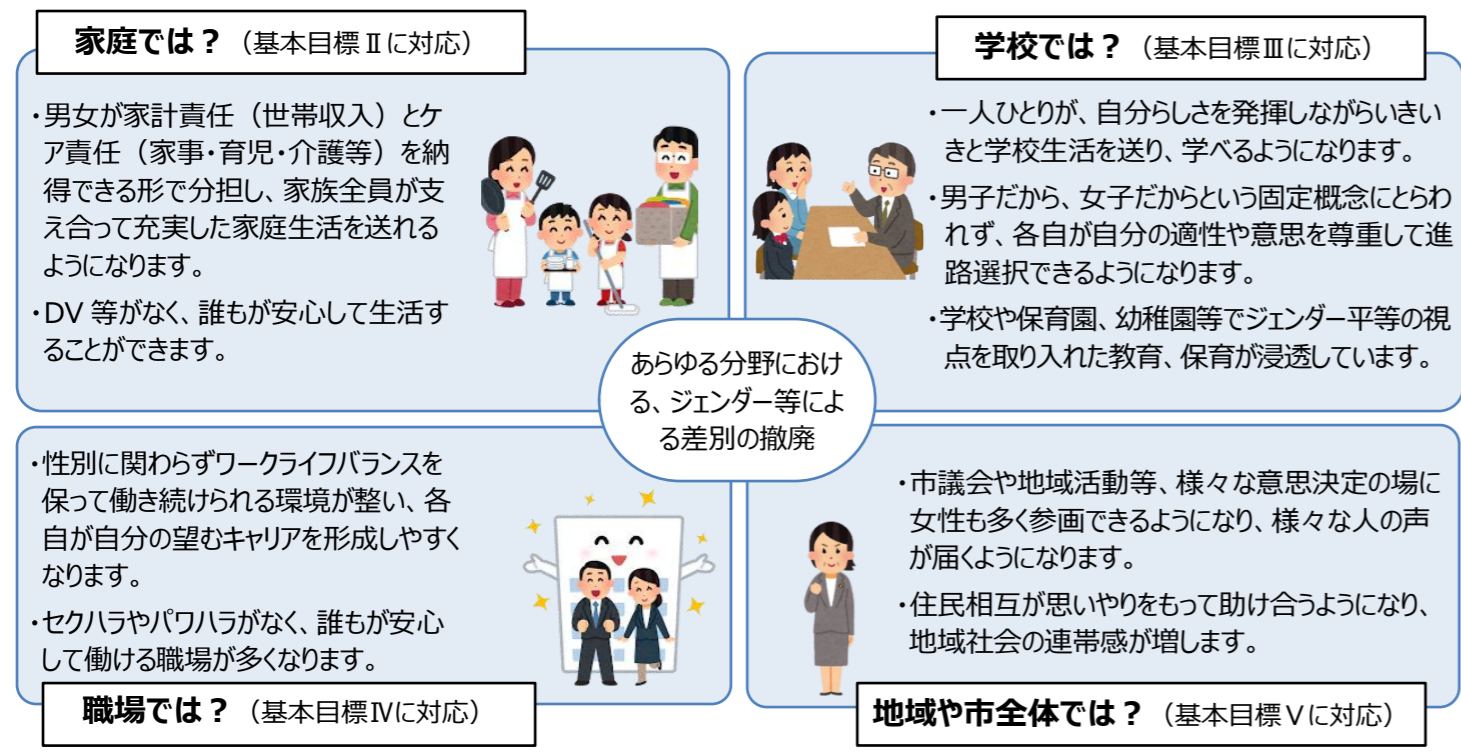


家庭内では男性が稼ぎ、女性が家事・育児等を担うという性別による固定的役割分担の傾向が見られます。

(3)その他

- ・自分の性を、出生時の性別と同じとは捉えていない方が0.9%います。
- ・DVを受けた経験がある人の中では、その際、誰にも相談しなかった人が半数を超えています。

3 目指したい将来像 ～ジェンダー平等社会が実現するとどうなる？～



結果として

- いつまでも本市に住み続けたいと思う人が増えていきます。
- それぞれの地域社会が機能を発揮し、市全体の活力を維持できるようになります。

4 計画の総合目標と目標値

(1) 総合目標

みんなでつくる だれもが自分らしく 快適に生活できる都市

(2) 目標値

基本目標	進捗状況評価のための指標	指標値(現況)	指標値(目標)
I 人権尊重とジェンダー平等社会に向けた意識づくり	ジェンダー平等の理解度	48.9%	52.0%
II 誰もが健康で安心できる生活の確保(生活・家庭分野)	家庭で男女平等だと感じている人の割合	34.5%	40.0%
III 誰もが安心して学べる環境づくり(学校分野)	学校で男女平等だと感じている人の割合	62.1%	65.0%
IV 女性をはじめ誰もが働き続けられる職場環境づくり(仕事分野)	職場で男女平等だと感じている人の割合	26.8%	30.0%
	山梨えるみんな(※)認定事業者数	8 事業者	11 事業者
V 多様な人材の参画による地域社会づくり(地域分野)	審議会等委員への女性の登用率	26.49%	35.0%
	地域で男女平等だと感じている人の割合	28.1%	30.0%
	市役所における女性職員の課長等昇任試験の受験率	48.0%	50.0%

※職場環境の整備を通じて、女性活躍や男性の育児参画を積極的に推進する企業を応援するために、山梨県が設けた認定制度。

5 施策の展開

基本目標Ⅰ 人権尊重とジェンダー平等社会に向けた意識づくり

施策の方向	市の取り組み	みなさんをお願いしたいこと
(1) 人権尊重とジェンダー平等社会に向けた啓発の推進	<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重とジェンダー平等に関する情報提供 学習機会の提供 地域に向けた発信 	<ul style="list-style-type: none"> 広報紙、ホームページ、各種講座等を通じて、ジェンダー平等に関する理解を深め、実践しましょう。 相手のジェンダーを尊重しましょう。

基本目標Ⅱ 誰もが健康で安心できる生活の確保(生活・家庭分野)

施策の方向	市の取り組み	みなさんをお願いしたいこと
(1) 女性・子ども等に対する暴力・虐待の予防と根絶	<ul style="list-style-type: none"> 暴力・虐待を予防するための取り組み 被害者に寄り添った支援 	<ul style="list-style-type: none"> あらゆる暴力をしない、許さない意識を持ちましょう。 DV、性犯罪等にあった場合は、悩まずに相談しましょう。また、被害を受けている人を見つけたら、相談窓口へ相談するか、警察に通報しましょう。
(2) 安心して健やかに過ごせる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> 安心して妊娠・出産・育児ができる体制づくり ライフステージに応じた健康づくりの支援 女性の健康と日常生活への配慮 	<ul style="list-style-type: none"> 各種検診等を積極的に受診しましょう。 女性の健康に関する理解を深め、適切な配慮を心がけましょう。
(3) 困難を抱える人への支援	<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭への支援体制の充実 生活困窮者の自立支援の促進 さまざまな困難を抱える人への支援体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 困ったときは、気軽に相談窓口へ相談しましょう。

基本目標Ⅲ 誰もが安心して学べる環境づくり(学校分野)

施策の方向	市の取り組み	みなさんをお願いしたいこと
(1) ジェンダー平等などの人権教育	<ul style="list-style-type: none"> ジェンダー平等などの人権教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ジェンダー平等について、学んだことを家庭でも話し合しましょう。
(2) ジェンダー平等社会の進路選択の支援	<ul style="list-style-type: none"> ジェンダーにとらわれない進路選択の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ジェンダーにとらわれず、柔軟に進路について考えてみましょう。